

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 21 日

評価対象事業		評価者	高齢者いきいき課担当課長 小宮 純	
健福-17 高齢者福祉運営事業		<input type="checkbox"/> 自治事務	主管課	高齢者いきいき課
		<input checked="" type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課	障害者福祉課
総合計画上の位置付け	分野	健康福祉	施策の方針	地域生活の支援サービス

1 事業の目的

対象	高齢者等
意図	地域における高齢者の保健・ニーズを分析し、必要なサービス量を定め、豊かな高齢者福祉の基盤整備を図るため。
効果	地域全体で高齢者の自立生活を支え合い、介護が必要になっても住み慣れたまちで暮らし続けられる環境を実現する。

2 平成27年度に実施した事業の概要

<p>高齢者保健福祉計画の進行管理を行った。 福祉有償運送事業に関する事務を行った。</p>
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	751	244		当初予算(千円)	1,722		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	751	244		一般財源	1,722		
事業運営	人員配置数	0.4	0.4		人員配置数	0.4		
	人件費(千円)	3,061	3,130		人件費(千円)	3,150		
	総事業費(千円)	3,812	3,374		総事業費(千円)	4,872		
事業費	市民1人当りの経費(円)	21	19		市民1人当りの経費(円)	28		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、ニーズに応じて実施する事業ではない
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、廃止・休止はできない
	今後も市が実施すべき事業か	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、成果を計ることはなじまない
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-負担未導入 △-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-協働未実施 △-9. 実施が義務付けられており(法定受託事務等)、協働はなじまない
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他
	<input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする	
	<input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する	見直しの内容 事業へ統合
	<input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 高齢者保健福祉計画は、3年ごとの作成が義務付けられており、28年度市民アンケート分析調査委託、29年度計画書印刷製本費等の経費が見込まれる。また、横須賀・三浦地区福祉有償運送市町共同運営協議会を横須賀市・三浦市・逗子市・葉山町・鎌倉市で構成し輪番で幹事市となり、本市は平成28年度に幹事市となる。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	高齢者保健福祉計画は、老人福祉法及び介護保険法により全ての市区町村に策定が義務付けられており、進行管理・基礎調査・計画策定の事業を3年のサイクルで行っている。また、横須賀・三浦地区福祉有償運送市町共同運営協議会は道路運送法上に定められている協議会であり、両事業とも適切な事業の実施が求められている。	

平成27年度事業実施にあたっての課題(前年度未解決の事項を含む)	鎌倉市高齢者保健福祉計画(平成27年度～平成29年度)の実現に向けて、計画事業を着実に実施する必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	個々の計画事業を実施することで、計画の推進を図った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	引き続き、鎌倉市高齢者保健福祉計画(平成27年度～平成29年度)の実現に向けて、計画事業を着実に実施する必要がある。 また、新たな計画期間(平成30年度～平成32年度)の鎌倉市高齢者保健福祉計画策定を進めていく必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	高齢者保健福祉計画の進行管理						単位	回	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
鎌倉市高齢者保健福祉計画推進委員会の開催回数実績	目標値										
	実績値	4	2								
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
指標の内容							単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31				
	目標値										
	実績値										
	達成率										
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方											

● 事業に関する特記事項

<input type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---